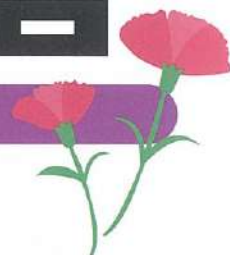


患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2020.5.1 May vol.160

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：はつらつ通信局



当院の病棟と外来で実施

注目される

ボツリヌス治療

「ボツリヌス療法」をご存じですか？

ボトックスとも呼ばれるこの療法は、意思とは関係なく手足が固まった
り突っ張ったりする「痙縮(けいしゅく)」という症状の緩和に使われていま
す。食中毒の原因菌・ボツリヌス菌が作り出す天然のたんぱく質を有効成
分とする注射剤を緊張している筋肉に直接打つことで、固さや痛みをやわ
らげます。もちろん、ボツリヌス菌に感染する心配はありません。

痙縮は、脳卒中の後遺症にみられる
運動障害のひとつです。リハビリやケ
アがしづらいほか、痛みを伴ったり、
関節まで固まり変形していくことも
あるため、効果のある治療法としてボ
ツリヌス療法が注目されています。

当院では、6年ほど前からボツリヌ
ス療法を取り入れ、現在では外来でも
行っています。担当するスタッフに話
を聞きました。



筋を見定めるエコーで効果が向上

新しい治療技術であるポツリヌス療法は、専門知識や施術技法などが日々更新されています。当院ではリハビリスタッフが中心となって積極的に学び、治療効果を高めています。

学びと経験を蓄積し エコーで筋肉を見定め

当院のポツリヌス療法の特色は、ポータブルエコー（超音波診断装置）の利用とリハビリスタッフの積極的な介入にあります。注射薬を投与する時にはリハビリスタッフが同行し、医師とともにエコーのモニターを見ながら注射をする筋肉を特定します。また、注射後はすぐにリハビリを



リハビリを行う川科長

開始して、治療効果の最大化を図ります。療法を開始した当初、リハビリスタッフの関わりは当時一般的だった注射後数日以内のリハビリだけでした。しかし、勉強を重ねる中で、ポツリヌス療法で最も難しい（注射をする筋肉の見定め）に、リハビリ専門職の知識を活用すべきと判断。積極的に関わることで筋肉特定の精度を上げ、療法自体の効果も高めました。

諸事情から延期になりましたが、3月にはポツリヌス療法の薬を扱う製薬会社からアドバイザーを招き、エコー読解のハンズオンセミナーを院内で開く予定でした。リハビリスタッフは現在も学び続けています。

昨年のエコー導入もきっかけは学びでした。「文献を読んでエコーに関心を持ち、理学療法士のエコー研修会に参加。これは使える」と、理事長に導入を相談しました」と川美千代リハビリテーション科科长。「小さな筋にもダイレクトに薬剤が届き、効果もよくなってありがたいで



志田理事長

「数年前、訪問診療でポツリヌス療法を行っていましたが、エコーがある今ならもっと高い効果が望めると思います。訪問診療での実施をまた検討していきたいですね」と志田勇人理事長は今後を展望します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

個人差の多い療法 受診で総合的に判断

入院患者さまのために取り入れたポツリヌス療法でしたが、ウェブサイトで発信などにより地域の方や近隣のクリニックから問い合わせが入るようになり、3年ほど前からは外来でも行うようになりました。

「ただ、ポツリヌス療法は疾患の期間や部位などによって効果の個人差が大きいんです」と志田理事長。症状によって注射の本数や薬剤量が異なり、保険は適用になります。治療費用には幅があります。注射特有の痛みもあります。また、痙縮ではないこわばりや突っ張りには効果ません。ご希望の方は一度受診され、医師の診察と説明、リハビリスタッフの評価を受けてから判断されることを志田理事長は勧めます。

外来のポツリヌス療法は予約制です。事前にお電話で外来看護師までお問い合わせください。



治療中の志田理事長

ポツリヌス治療のながれ

治療スケジュール例



下肢に痙縮がある入院患者さまの投与の様子です。

1. 注射を打つ位置を体表にマーキング
2. グラクソ・スミスクライン社の薬を使用しています。部位ごとの注射を用意
3. エコーで筋の位置を確認
4. 目標の筋に注射
5. 注射跡に保護用パッド
6. 別の部位もエコーで確認
7. 注射針や薬剤も画像で検知
8. ひざが曲がるようになりました。注射後、すぐにリハビリ

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一、患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二、専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三、職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四、職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

地域連携部にフレッシュな顔 春から新たな 体制で始動

新入職と新主任で 体制を一新



長く勤務していた主任職の退職に伴いスタッフの調整を進めていた地域連携部が、新年度に新しい体制でスタートを切りました。

欠員に対しては、氏家太郎MSWが新たに入職。鍋谷健彦センター長とかつて同じ職場だった縁で、当院とつながりました。鍋谷センター長のマネジメントのやり方を理解する即戦力として、現在部内で

進行中の複数の取り組みでも活躍が期待されています。

主任の後任には、浦野すま子MSWが就任しました。患者さん、ご家族との関係性を大切にしてきた浦野MSWですが、今後はさらに表に出て行く機会が増えそうです。

新体制で心機一転した地域連携部を、今後もよろしく願っています。

地域連携部のスタッフ



左から、氏家太郎MSW、浦野すま子主任、中谷実恵MSW、鍋谷健彦センター長

職員リレー エッセー

案内係

地域連携部 MSW
氏家 太郎
【うじいえ たらう】

今年2月に入職した私は医療ソーシャルワーカー(MSW)です。仕事の内容は、入院・外来受診・在宅診療や福祉の相談など。複雑な医療・福祉の仕組みの中で、その方にとって最良の方向へ分かりやすく誘導する「案内係」だと思っています。けると幸いです。

当院は私個人にとって2カ所目の勤務先ですが、以前より地域との強い結びつきを感じます。地域の皆さまの期待に応え、より信頼していただける案内係を目指して頑張ります。1階奥に見える紫色の看板「総合支援センター」らしい「く」にありまので「く」相談がありましたらお気軽にお声がけください。



送迎付き 企業健診のおしらせ

当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金

4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822 URL <http://www.lilac.or.jp>

診療時間 [平日] 9:00~12:30 13:30~17:00
[土曜] 9:00~12:00

面会時間 [平日] 14:00~20:00
[土日祝] 12:00~20:00

